

平成 30 年 第 2 回 定 例 会 一 般 質 問 通 告 事 項

<p>6 月 15 日 午 前</p>	<p>杉原孝一郎議員（尾道未来クラブ） 質問方式：一問一答方式</p> <p>1 市長は、なぜ、堂々と場外舟券発売所の設置反対声明が出せないのですか</p> <p>新高山に計画されている場外舟券発売所設置に関して、地元町内会が多数の反対者と少数の賛成派役員とが激しい対立構造になっているにも関わらず、2年以上も市長は放置しています。そのことがより一層、両者の亀裂に拍車を掛けています。</p> <p>設置については、新高山町内会にとどまらず、市内外に反対の輪が広がってきました。市長は、すでに町内会住民の過半数を超える反対署名を添えた請願を受け取っています。</p> <p>市民の声を大切に。という日頃の発言が本当ならば、それだけでも、反対であることを内外に示さなくてはならないはず。さらに、設置条件に関しては、市長自身（理事者側）が、明らかにしなければならぬ要件が含まれています、にも関わらず、議会の判断を待つという回答を返していると聞きますが、議会には予算を伴う本案件の調査力はありません。市長の責務です。</p> <p>町内会が分断の危機にある現在、放置していること自体、市長の職責放棄です。無責任です、修復に向けての努力義務があるのではありませんか</p> <p>誠意をもって以下の質問にお答えください</p> <p>(1) 設置に反対する関係町内会有志の皆さんは、議会への請願を取り下げ、市長宛に請願を提出しています。それに対し市長は、議会の動静を見守るとの回答であったと仄聞しますが、正確には、どういう回答をされたのか</p> <p>(2) 私の質問を受けて、市長として事前に調査分析しなければならない条件があるのがお判りになったと思いますが、それが何であり、これまでどんな準備をされているのか</p> <p>(3) 町内会の亀裂をどのように受け止め、解決に向けての努力をどうされるおつもりか</p>
---	--